

## 第2回教育委員会臨時会議事要録

詳細—教育部庶務課 電話03-3981-1141

附属機関又は 会議体の名称	教育委員会定例会	
事務局（担当課）	教育部庶務課	
開催日時	平成28年2月25日 午後4時20分	
開催場所	教育委員会室	
出席者	委員	菅谷 眞（委員長）、千馬 英雄、渡邊 靖彦、三田 一則（教育長）
	その他	教育部長、庶務課長、学務課長、学校施設課長、指導課長、教育センター所長、統括指導主事2名
	事務局	庶務課庶務グループ係長、庶務課庶務グループ係主事
公開の可否	一部公開 傍聴人 1人	
非公開・一部公開の場合は、その理由	選挙に関しては人事案件のため非公開とする。	
会議次第	選挙	豊島区教育委員会委員長の選挙及び同職務代理者の指定について（庶務課）
	第5号議案	駒込図書館及び上池袋図書館の開館時間について（図書館課）
	協議事項第1号	平成27年度 小・中学校卒業式祝辞について（指導課）
	報告事項第1号	駒込図書館等の開館日について（図書館課）
	報告事項第2号	平成27年度 豊島区教育委員会児童・生徒等表彰審査結果について（指導課）

菅谷委員長)

皆さん、こんにちは。それでは、ただいまから、第2回教育委員会臨時会を開催いたします。

私の委員長としての任期及び嶋田委員の委員長職務代理者としての任期が、昨日、平成28年2月24日まででしたので、本日は、豊島区教育委員会委員長の選挙及び同職務代理者の指定から始めます。

新委員長が決定するまでの間、前委員長である私が進行を務めさせていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

(委員全員了承)

(1) 選挙 豊島区教育委員会委員長の選挙及び同職務代理者の指定について

菅谷委員長)

それでは、委員長及び同職務代理者の選出方法等について、庶務課長からご説明をお願いいたします

<庶務課長 資料説明>

**人事案件のため非公開**

(委員全員了承)

菅谷委員長)

それでは、案件に移りたいと思います。

本日の署名委員は、渡邊委員と千馬委員をお願いいたします。なお、本日は傍聴希望者が1名おられます。よろしいでしょうか。それではお入りください。

三田教育長)

議題に入る前に少しよろしいでしょうか。お手元にメモを置かせていただきましたので、ご覧いただきたいと思います。

2枚目を、まずご覧いただきたいと思いますが、本日、東京都教育委員会から緊急のメールで「送信日時が2月24日13時48分、ご意見、ご要望というタイトルで、2月26日、つまり明日金曜日、午後3時34分に東京都内の小学校の複数箇所に、圧力鍋を利用した殺傷力の高い爆弾を仕掛けた。たくさんの犠牲者が出るでしょう。という内容のメールが都に送られてきた」との情報提供がありました。そのメールが東京都教育委員会だけに入っているのか、そのあたりの事実関係が全く分からない中で、これはどうだろうかということで都とも確認をしたりしていたのですが、区教育委員会として万が一を想定して、緊急の対策会議を開きました。ただちに区長に連絡を入れ、区長部局の危機管理監にも報告をして、朝からずっと臨戦体制をとって動いてまいりました。

まず、学校には校内の安全点検をするように、それから、防犯カメラで不審者の出入りがないかどうかチェックするようという指示を出し、報告を求めました。お昼過

ぎに各学校から「点検結果、異常なし」という報告をいただきました。1枚目をご覧いただきたいのですが、その時点で既に、世田谷区と立川市がホームページ上にこの情報を掲載しました。それから、稲城市では、本日の授業を中止して児童を帰したり、明日の授業は9時から始めたり、それから、学童保育は、学校外の公共施設に移したりといった対応をとっております。

本区ではどうするのかというような問い合わせもありましたので、1枚目にありますように、本区ではきちんと対応しているので心配ないことを、ただ今区と教育委員会のホームページに情報を掲載するとともに、各学校と子どもスキップにはメールで連絡を流しました。それから私立の小学校にも全部連絡をいたしました。その内容を少し読ませていただきますが、「本日2月25日、都内の小学校に爆発物を仕掛けたというメールが届いたと東京都教育委員会から連絡が入りました。豊島区及び豊島区教育委員会では、ただちに全庁体制で、区内の全小学校及び子どもスキップ等の関係施設の安全点検を行った結果、異常はありませんでした。今後、明夕まで監視を続け、学校及び関係施設と一体となって安全・安心の体制を強化してまいります。保護者及び関係各位におかれましては、冷静な対応をお願いいたします。」といった内容の文章で、各学校に問い合わせがある場合には、こうした一貫した考え方で対応していくようにと確認をしたところであります。

今、教育部長が教育委員会に遅れてきたのは、議会各会派にこういう対応をしたということの説明に回っていたためであります。昨日の夕方のニュースでもこの種の犯人が逮捕されたということで、同一の人物かどうか分かりませんが、他県にも同様のメールが送られているということであります。豊島区では、情報に振り回されることなく、このような体勢をとらせていただいたということで、各委員の皆様にご報告をさせていただきます。どうぞ、よろしくをお願いいたします。

菅谷委員長)

どうもありがとうございます。

この種のメールは、世間を騒がせるというのか、愉快犯の可能性があるので、嘘かもしれませんが万全の体制を整えないといけない事案だろうと思います。今、教育長からご報告ありましたような対応をされているということで、教育委員会としてもその体制を了承したいと思います。引き続きよろしくお願ひしたいと思ひます。

三田教育長)

ありがとうございます。

しっかり、警察とも連携をとって対応しておりますので、明日の時点で異常がなければ、また委員の皆様にはご報告を差し上げたいと思ひます。しっかりと対応してまいりますので、よろしくお願ひいたします。

菅谷委員長)

どうもありがとうございました。

(2) 第57号議案 駒込図書館及び上池袋図書館の開館時間について

菅谷委員長)

それでは、議案に入らせていただきます

第57号議案、駒込図書館及び上池袋図書館の開館時間について、図書館課より説明をよろしくお願いいたします。

<図書館課長 資料説明>

菅谷委員長)

ありがとうございました。

ただいまのご説明について、特に何かご意見、ご異議はございますか。特に何もありませんので、この件については了承いたしたいと思えます。

(委員全員異議なし、議案了承)

(4) 報告事項第1号 駒込図書館等の開館日について

菅谷委員長)

では、続きまして、報告事項1号、駒込図書館等の開館日について、図書館課より説明をよろしくお願いいたします。

<図書館課長 資料説明>

菅谷委員長)

ありがとうございます。

ただいま、開館日についてのご報告をいただきましたけど、これについてご意見等ございますか。特段、ご意見等ございませんので、これについても了承いたしたいと思えます。どうもありがとうございました。

(委員全員異議なし 報告事項了承)

(5) 協議事項第1号 平成27年度小・中学校卒業式祝辞について

菅谷委員長)

それでは、続きまして協議事項の第1号、平成27年度小・中学校卒業式祝辞について、指導課より説明をよろしくお願いいたします。

<統括指導主事 資料説明>

菅谷委員長)

どうもありがとうございました。

ただいま、小学校・中学校の祝辞を読んでいただきましたが、委員の皆さん、いかがでしょうか。ご意見、ご感想、あるいはここはこうしたほうがいいのかというようなことがありましたら、どうぞおっしゃっていただきたいと思えます。

最初の出だしのところのソメイヨシノが咲き始めたというところが、中学校は18日、

小学校は25日が卒業式なので、中学校の卒業式のときは桜がまだ咲き始めていないと思いますが、全く同じ文章なのか。これは枕詞だといえそうなのかもしれませんが。

三田教育長)

桜のつぼみが膨らみ始めたでもいいのではないのでしょうか。

菅谷委員長)

一週間のずれが少し気になりましたものですから。千馬委員、何かございますか。

千馬委員)

基本的には、これでいいと思います。具体的に述べますと、まず一つ目は、小学校のほうは「クール ジャパン」、それから中学校のほうは「ジャパン ウェイ」というキーワードをもって、日本の良さをコンセプト（概念）にしたメッセージだというように受け止めました。

そういうわけで、児童、生徒に夢と自信を持って生きてほしいというメッセージとなっているのではないかというふうに私自身は感じました。

それから2つ目は、豊島区全校に共通した特色が大事で、やはりそこを強調してほしいなと思っていたので、共通性という意味でも豊島区の特色がメッセージとして伝わる内容ではないかと感じました。

菅谷委員長)

渡邊委員、どうですか。何かご意見ありますか。小学校のほうもいかがでしょうか。

渡邊委員)

前回より小学校もまとまっていて、良い内容になっていると思います。やはり豊島区の良さということを強調して、子供はカッコいいこととかにあこがれを持つので、そういった点で気持ちがきちんと伝わる文面になっていると思います。

また、千馬委員と重なってしまいますが、中学校もやはり日本らしさというとういう点で、昨年、戦後70年を迎え、日本らしさというのが世界で大変評価を受けているところなので、日本らしさ、豊島区らしさを子供たちの心の中に伝えていけるような祝辞になっているということで、大変結構だと思っています。

菅谷委員長)

私も全体としては今の二人の委員と同じ意見で、「クール ジャパン」というのは、日本の素敵な生き方や日本の心を表現しており、それが豊島区の中でもかなり根付いているということを証明するもので、すごく分かりやすいと思います。そういった意味で、豊島区のことを誇りに思っただけであればと思います。それから、文章の中ほどに「「クール ジャパン カッコいい」を求めて海外から大勢の外国人が日本を訪れるでしょう。わがふるさと豊島区にも、世界の人々がカッコいい豊島のクールを求めてやってきます。」という一節があります。「やってきます。」という表現ですが、その前のところで「訪れるでしょう。」というフレーズを使っているので、「訪れます。」は使いにくいかもしれませんが、「やってきます。」という言葉も、もう少し丁寧な言葉で言えないかなという気

がしています。実に細かい話ですが、いかがでしょうか。

三田教育長)

前回、渡邊委員からは、子どもの目線でもう少し具体性のあるものをという、ある意味厳しいご指摘があったかと思います。また、本来そうでなければいけないということで、中学校の祝辞は、少しテーマを変えさせてもらったというか、書き直しをさせていただきました。小学校の方は「クール ジャパン」をキーワードに、文章をもう少し練り直したほうがよいだろうということで、いろいろと検討してまいりましたが、今の委員長のご指摘についても、そう言われてみるとそうだなというふうに思いますので、「やってきます。」のところは、今すぐ思い当たらないですが、「訪れます。」に近いような言葉で、手を入れさせていただきます。大筋でご了解をいただければと思いますが、よろしいでしょうか。

菅谷委員長)

基本的にはこれでよいと思います。

中学校のほうで何かお気づきの点等ございますか。私自身も、五郎丸選手あるいはノーベル賞あたりがテーマになるのかなあと考えていましたが、国中が五郎丸選手で湧いたのでこれはこれでよいと思います。中学校のほうについて、渡邊委員いかがですか。

渡邊委員)

五郎丸選手は大変話題性もあるし、非常に真摯なので、子供たちにも評判がいいと思いますし、子供たちにも響くのではないのでしょうか。ただ、原稿を読むときに少し気を付けなければいけないことは、ラグビーワールドカップでの日本の通算成績「一勝二分二十一敗」を読み上げるときに、今の子は結構「2わけ」と言ったりするところがあるので、その辺で「分」という言葉の意味をきちんと理解しているのか少し気になったというか、そこまできちんと聞いていてくれればうれしい話ですが、どんなものでしょうか

三田教育長)

今、渡邊委員のご指摘のところですが、例えば「通算成績は一勝二引分二十一敗」とか、そういった言い方の方がよろしいですか。

渡邊委員)

その方がよいと思います。

三田教育長)

はい。わかりました。では、そのように訂正させていただきます。文章が話しことばと書きことばになっているので、書きことばがやはりどうしても、聞く側で今のようなご指摘になってしまいます。

菅谷委員長)

私の方から、1ページ目の最後に「これから皆さんが帆を進める大海原（おおうなばら）は夢や希望に満ちあふれ、きっと充実した航路を進むことができるでしょう。」とあります。確かにそうかもしれませんが、人生必ずしも夢や希望だけではなくて、大変困難

なこともあります。それに対して力一杯、強い意志を持って、可能性があるものは何でもやろう、やって自分の目標を達成しようというようなこともあろうかと思います。人生が夢と希望だけで行ってしまうのか、やはりそこにはいろんな困難があり、そこを何とか乗り越えるために何が必要か。今のラグビー日本チームもそうであったように、困難を乗り越えるためには努力も必要なんだというようなことで、何かもう少し表現できないかというふうに感じました。

三田教育長)

今のご指摘は、ニュアンス的にはよく分かります。ですから、「これから皆さんが帆を進める大海原（おおうなばら）は、困難の連続です」と逆に言ってしまっただけで、本当に困難の連続だと思いますが、そのときに困難に負けない、大事なことは夢を持って希望を貫く、ありとあらゆることに挑戦して初めて開けるものだと思います。そういった言い方にすれば、前段の文章が生きてくると思います。

そうしましたら、その辺の表現はともかく、そういうニュアンスで、少し手を入れさせてもらうということでもよろしいでしょうか。

菅谷委員長)

文章の内容自体は基本的にこれで結構だと思います。一部内容を少し手直しいただくということで、教育委員会としてはこの祝辞（案）を承認したいと思いますが、よろしいでしょうか。

ありがとうございます。皆さんにご了承いただきましたので、それでは、よろしく願いいたします。

(委員全員異議なし 報告事項了承)

#### (5) 報告事項第2号 平成27年度豊島区教育委員会児童・生徒等表彰審査結果について

菅谷委員長)

それでは、続きまして、報告事項第2号、平成27年度豊島区教育委員会児童・生徒等表彰審査結果について、指導課よりご説明をお願いいたします。

<統括指導主事 資料説明>

菅谷委員長)

ありがとうございました。

ただ今ご説明いただきましたように、これに関して何かご意見、ご感想等がありましたらお願いいたします。

三田教育長)

若干補足させていただきたいと思います。

今、統括指導主事から、昨年、一昨年に比べても数が多く、その要因が消防、警察少年団での活躍という話がありましたが、少し角度を変えて申し上げますと、私どもは一昨年

から消防少年団、交通少年団、それぞれ、管理、管轄が2カ所ずつ、合計で4カ所となっております。消防署と警察署にそれぞれ挨拶等に行かせていただいております。数年前までは、この少年団活動が非常に衰退しているということで、何か改善策はないのだろうかと考えました。教育委員会としても、各学校にただチラシを配るだけではなく、3・11の大震災を経験して、今、危機対応力を育てる体験活動が非常に重要だということで、子供たち自身が自らの力で防災、安全行動力を身に着けられるように、教育的観点から応援していただきたいということを各学校にお願いしました。そうしたところ、大変丁寧な対応をとっていただきました。

その結果、例えば、巣鴨警察の交通少年団、あるいは、豊島消防署の消防少年団、それぞれ、都内で一番参加者が増えたということで、両署長から教育委員会と連携をしたおかげで大変ありがたいと、警視総監や東京消防庁からも豊島区の取り組みというのは近年の中では特出すべきことだとお褒めの言葉をいただいております。そういう流れの中で、私が大変感動したのは、小学生まで少年団活動をやってそれで終わりというのはたくさんありますが、中学生になっても高校生になっても、後輩の指導をきちんと行って、後任を育てているということでもあります。そういったことが、やはり学校の安全教育にもインターナショナル・セーフスクールの認証取得にも大変貢献しています。

教育委員会が児童・生徒の活躍を積極的に表彰することで、児童・生徒の活動の奨励につながるという意味においても、非常に良い結果が出ているのではないかというふうに、私自身捉えております。その辺を踏まえてお決めいただければと思います。

それから、もう一つ数が増えた要因として、前回の委員会で報告したかと思いますが、今年は、「調べる学習コンクール」に中学生の参加もありました。さらに、応募総数ですが、今までは650件ぐらいだったものが、今年は1,100件を超えました。

結果としては、裾野が広がったということで、表彰対象者が増えています。豊島として大きな前進の中で、こういう数字が出てきたということでご理解いただければ大変うれしく思います。

菅谷委員長)

どうもありがとうございました。他に委員の皆さん、何かございますか。

千馬委員)

一つ教えていただきたいのですが、10番の高南小学校5年生のお子さんが、東京都の小学生科学展で表彰されていますが、この科学展というのは、具体的にどのような展覧会で、そして、どのような作品が評価されたのか、もし分かれば教えてください。

統括指導主事)

高南小学校のお子さんが表彰された東京都小学生科学展というのは、今年度から新しくスタートしました東京都教育委員会主催の展覧会でございます。この展覧会は、「調べる学習コンクール」と似ているところがありまして、自分が興味を持った理科的なものを、実験をしたり、レポートにまとめたりしまして、それをそれぞれ発表するもので、レポー

トを書くだけでなく、その会場に行って、自分で実際に説明をするというところまで行きます。ちなみに、当該のお子さんの作品は、ドライアイスに注目をして、ドライアイスについて自分で疑問に思ったことを実験で繰り返して調べてレポートにまとめた、そういった内容のものでございます。レポート内容が大変すばらしいとの評価を受けまして、東京都教育委員会賞を受賞したということでございます。

千馬委員)

わかりました。ありがとうございます。

菅谷委員長)

渡邊委員、何かありますか。

渡邊委員)

先程の教育長のお話にもありましたが、交通少年団に参加する子が少ないという話が随分前から出ておまして、それが長年の努力の結果で、参加してくれる子がこれだけ増えたというのはとても喜ばしいです。また、消防少年団についても、最近、中学校の校長先生とお話をしている、うちの中学校でも防災訓練をやりたいという先生方が増えてきているそうです。文化面でも運動面でも個人ですばらしい成績を収めるというのは、大変すばらしいことではありますが、やはり社会のためにやろうという子供たちがこれだけ出てくれるというのは、大変頼もしいことだと思いました。

菅谷委員長)

今、渡邊委員がおっしゃったように、とにかくみんなでいろいろと頑張ってきて、こういう表彰を受けられるまでになったということは、今後非常に大きな期待が持てます。

では、この件につきましては、この内容で表彰をさせていただきたいと思います。よろしいですね。ありがとうございました。

(委員全員異議なし 報告事項了承)

菅谷委員長)

以上をもちまして、第2回教育委員会臨時会を終了いたします。どうも、ありがとうございました。

(午後5時27分 閉会)